



## 日独国際研究教育プロジェクト(GAME) 参加者募集

北海道大学大学院環境科学院では、海洋生態学の国際研究教育プロジェクトである GAME に参加する大学院生を募集します。参加ご希望の方、あるいは関心のある方は、下記連絡先までお問い合わせください。

### 募集対象:

北海道大学環境科学院および農学院環境資源学専攻の修士課程および博士課程に在籍する大学院生(来年度に入学を予定・希望しているものを含む)。

### 募集人数:

1名(応募者多数の場合は、「これまでの研究経過」、および「今後の研究に関する抱負」を伺った上で、選考します)。候補者が確定次第、締め切ります。

### 連絡先:

仲岡雅裕(北海道大学北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所)  
nakaoka@fsc.hokudai.ac.jp

### 【GAME(Global Approach by Modular Experiment)とは?】

地球規模で進行する環境変動に対する生物群集の反応を理解するには、環境条件の異なるさまざまな地域で同じデザインの実験を行い、その結果を比較することにより、一般性と特異性を検討する方法(「モジュール実験によるメタ解析」)が有効です。GAMEは、このような実験方法により、生物群集のさまざまな特性の一般性・特殊性を解明すること、また、そのような地球規模の視野を持った専門家を育成することを目的として、ドイツ最大の海洋研究所である IFM-GEOMAR (The Leibniz Institute of Marine Sciences at the University of Kiel) が主催して行っている国際研究教育プロジェクトです。

本プログラムには、これまで、ドイツ、イギリス、ポルトガル、日本、香港、南アフリカ、オーストラリア、ニュージーランド、チリ、ブラジルなどの諸国の学生が参加してきました。本プロジェクトの詳細については、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.ifm-geomar.de/index.php?id=1325&L=1>

### 【次期プログラム(GAME X)の研究課題】

“Do adverse conditions during transport select for stress-tolerant genotypes in founder populations of non-native invertebrates”という研究テーマです。海洋の移入種問題について、「移入種は輸送中の強い選択圧を受けるため、移入先でも環境汚染に耐性が高い」という仮説を検証します。沿岸に生息する無脊椎動物(二枚貝やホヤ類など)を対象に、臨海実験所の施設を用いてさまざまな条件で飼育実験を行い、仮説検証を行います。

### 【具体的な実施方法とスケジュール】

GAMEは、世界各国(日本を含む)から参加する大学院生がドイツの大学院生と2名のチームを組み、それぞれの国(日本)で約6ヶ月の実験を行います。その前後に行われるドイツでの講義、実習を含めて10ヶ月間(2012年3月~12月)のプロジェクトになります。

・2012年3月:ドイツ・キール大学(IFM-GEOMAR)において、プロジェクトに関する事前の講義、実習を英語で受けます(約4週間)。

・2012年4月～9月:ドイツから派遣される学生とチームを組んで、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所において上記の実験課題に取り組みます。

・2012年10月～12月:IFM-GEOMARに戻り、実験結果の解析および論文執筆、学会発表などを行います。

#### 【経費】

・渡航費およびドイツの滞在費は全額支給されます。また、日本国内の実験期間中は研究経費および宿泊費の一部がサポートされます。

#### 【研究成果】

GAMEの研究成果については、当事者間で打ち合わせの上、各参加者が修士論文や博士論文の一部として利用することができます。また、全体のメタ解析に参加することにより、NatureやScienceクラスの雑誌への投稿にも挑戦する場合があります(実際に投稿するかどうかは、その時の研究成果の質によります)。

#### 【日本の担当教員】

仲岡雅裕(北海道大学北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所)  
nakaoka@fsc.hokudai.ac.jp

#### 【ドイツの担当教員】

Prof. Martin Wahl, Dr. Claas Hiebenthal (Leibniz-Institut für Meereswissenschaften, IFM-GEOMAR, Duesternbrookerweg 20, D- 24105 Kiel, Germany)

#### 【参加にあたっての注意事項】

・本プロジェクト参加期間中(2012年3月～2012年12月)は、上記研究課題に専念することになるため、他の研究課題との同時進行はかなり困難なことが予想されます。既に環境科学院および農学院環境資源学専攻において各自の研究課題を進めている大学院生の方は、事前に指導教官と今後の計画についてご相談のうえ、応募ください。

・本プロジェクトに関連する課題を自身の修士論文や博士論文のテーマとすることも可能です。

本プログラムへの参加は、組織的な若手研究者等海外派遣プログラム「環境科学に関する海外パートナーと協働した若手研究者育成および国際的共同研究の推進」の一環として行われます。